

昭和48年1月
第1号

39年前の1月に、広報紙「社福のだ」が発刊され、同年12月28日に野田市社会福祉協議会が法人化されました。

老人医療費の無料化や健康保険法の改正が行われました。

オイルショックの影響で、スーパーには紙製品を求める人で行列ができました。



広報紙「社福のだ」は、野田市社会福祉協議会が法人化され、「福祉元年」とも呼ばれた昭和48年に発刊され、今号で100号を迎えました。100号を記念し、創刊号から現在までを振り返ります。

福祉を取り巻く環境は大きく変化し続けます。今後もニーズに応じた、親しみやすい紙面づくりに努めていきます。

「社福のだ」 創刊100号を迎える

平成9年6月
第53号



消費税が3%から5%にアップした平成9年。

ボランティアセンター運営委員会を設置し、センターの機能強化を図りました。

また、上花輪地区社会福祉協議会が市内第1号の地区社協として設立されました。

昭和63年7月に市の委託を受け、ねたきりの高齢者の方に対する「入浴サービス事業」を開始しました。

現在は、介護保険指定事業者として、2台の入浴車でサービス提供をしています。

昭和63年8月
第27号



時代と歩む「社福のだ」

改正介護保険法が施行され、予防を重視した事業が介護保険のサービスメニューに加わりました。インフォーマルなサービスとして、地区社協のサロン活動が注目されています。

平成18年8月
第81号



平成15年7月
第72号



平成15年6月、野田市と関宿町の合併に伴い、関宿町社会福祉協議会と合併しました。

関宿3地区を含めた市内22か所全域に地区社協の設置が完了しました。

平成13年12月に創立50周年を記念し、社会福祉大会、講演会を開催しました。

ファミリー・サポート・センター、みずき学童保育所の運営を受託しました。

平成14年2月
第67号



平成11年11月
第60号



義務化に伴い、目に見える事業として、平成12年1月から「チャイルドシート貸出事業」が開始されました。

現在でも多くの市民の方から好評をいただいています。